

令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法特論Ⅲ		講義・演習	鮫島 一雄・堂脇 ゆかり・酒巻 直美 坂東 恵美子・安村 明子・藤 信太郎 田中 靖人・福林 秀幸・前川 加奈・小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（4 単位）		30 回	3 年次	通年
授業の目的・概要				
前期では、臨床実習の報告会・振り返りを行い臨床実習で学んだことを整理し修得していく。 後期では、国家試験に向けてこれまで学修してきた知識の整理を行い定着させ、理学療法士国家試験取得を目指す。 また、障がい者スポーツについて知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 前期は、臨床実習で行ってきた基本的理学療法を他学生にも報告し、討議することができる。（前期10回） 2. 後期は、障がい者スポーツのついて知識を深める。また、理学療法専門基礎分野・専門分野において国家試験に合格する知識をつける。（後期20回）				
授業計画				
回	内容			
1	3年生オリエンテーション			
2	国家試験対策オリエンテーション			
3	臨床実習オリエンテーション			
4	症例報告会（Ⅰ期実習）			
5	症例報告会（Ⅰ期実習）			
6	症例報告会（Ⅱ期実習）			
7	症例報告会（Ⅱ期実習）			
8	実習振り返り			
9	症例報告会（Ⅲ期実習）			
10	症例報告会（Ⅲ期実習）			
11	国家試験対策(1)			
12	国家試験対策(2)			
13	国家試験対策(3)			
14	国家試験対策(4)			
15	国家試験対策(5)			
16	国家試験対策(6)			
17	国家試験対策(7)			
18	国家試験対策(8)			
19	国家試験対策(9)			
20	国家試験対策(10)			
21	国家試験対策(11)			
22	国家試験対策(12)			
23	国家試験対策(13)			
24	国家試験対策(14)			
25	国家試験対策(15)			
26	国家試験対策(16)			
27	国家試験対策(17)			
28	障がい者スポーツ指導者制度について			
29	全国障害者スポーツ大会の概要について			
30	障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	後期に数回行う試験によって平均して60%以上であれば合格とする。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	使用教科書については、決定後に連絡する。購入時期は、夏期の予定である。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
コロナ禍で変更することがある。 主に臨床実習の報告・国家試験対策学習を行い、最高学年の集大成とする。各自、自主学習・自己研鑽に励むこと。				